

## JICA札幌ニュース



### 地方自治体や地域国際化協会の方々を対象とした研修が開催されました —札幌から—

2006年12月11日から15日にかけてJICA札幌で地方自治体職員等国際協力実務研修が行われ、北海道と東北地域の地方自治体や地域国際化協会の方々11名が参加しました。北海道や東北の地域のリソースを活かした地方自治体やNGOによる国際協力の具体例の紹介、実際の研修現場の視察、地域のリソースを活かした国際協力等の実施方法を具体的に考えるアクションプランの作成等、様々なプログラムを受けていただきました。

参加者からは「地域の住民と一緒に取り組んでいる活動を聞き、これを参考にしながら地域の活性化につながる活動をしていきたい」「今まで自分にはない視点を知ることができた。アイデア一つで事業を開拓できることを、実際の事例を聞くことにより再認識し、自分でもやらなくてはとの思いが強くなった」等とのコメントをいただきました。より多くの自治体の方々に国際協力への理解を深めていただけるよう、また実際に国際協力に参加していただけるよう、継続してこのような研修プログラムを実施していきたいと考えております。  
(JICA札幌 荒)



グループで議論する研修参加者



東南アジアIT人材育成コースの研修現場を視察する研修参加者



### 道北地区の青年海外協力隊OB・OGのネットワーク —旭川から—

現在、道北地区協力隊OB向けのジャーナルをe-mailにて不定期に発行しています。内容は、協力隊員の派遣状況、OBの活動、JICA事業・関連イベントなどを親しみやすく提供しているのですが、その掲載内容に対する有効な情報提供や、手助けの申し出を頂くことも多々あり、今更にして協力隊OBの皆さんのボランティア精神に感激している今日この頃です。  
(国際協力推進員(旭川)鳥居)



### JICA開発教育指導者研修(道南地区) ～体験的に学ぶ持続可能な地域づくり～が開催されました —函館から—

2006年11月24、25日、そして2007年の1月20日の3日間、函館にてJICA開発教育指導者研修～体験的に学ぶ持続可能な地域づくり～が開催されました。今回は環境や福祉など地域が抱える身近な問題を通じ、地球的規模の課題についてみんなで考えていこうという主旨で、道南の先生がたをはじめ地域で活動しているNGO/NPOの方や学生の方など多彩な顔ぶれで行われました。1日目の参加者は33名となり、開発教育協会(DEAR)代表で立教大の田中治彦教授の講演に真剣に耳を傾けていました。2日目と3日目はアクションプランの作成と発表ということで、実際に地域を回ってみて気づいたこと、改善したいことなどをグループで話し合いそれぞれの解決策を発表しました。参加者の人たちの地域を愛する気持ちが伺われ、和気あいあいとした雰囲気の中で全3回のセミナーを終えました。  
(国際協力推進員(函館)岡田)



実際に地域を歩き回り調査をする参加者



釧路、帯広での市民との交流



### 北海道の冬を満喫するJICA研修員 —帯広、釧路から—

ほとんどは雪とえんのない暑い国からやってきてている研修員たち。北海道の冬といつしょに、道東でのさまざまなイベントも市民の皆さんといつしょに満喫しているようです。

12/2に釧路のまなほっと幣舞で行われた「メッセージtoくしろ」では、研修員たちが釧路の子どもたちに写真などを使って自分の国を紹介したり、いつしょに歌ったり、ゲームをしたり。聞きなれない言葉や珍しい写真から、子どもたちはいろんなことを感じ、学んだようでした。

12/9には世界中のワインが並ぶ「ワインパーティー」で乾杯!!世界のワインを飲みながら、研修員お得意の歌や踊りが続きます。寒い寒い帯広の冬に、心も体も温まる年の瀬のひとコマでした。

(JICA帯広 木村)



ジャマイカからの青年と交流



### 中南米諸国10カ国から14名の青年が来北！ —北見から—

11月に中南米から来北したJICA青年招へいの青年達が、2泊3日のホームステイを体験しました。陽気なカリビアンたちとのあつという間の時間。ホームステイ受入初体験の松田さん(北見市・写真右端)は「2泊3日の短い期間だし何とかなるかとトライしましたが、逆にもっと時間ががあれば良かったと思うぐらいです。子どもと二人でキャロル(ジャマイカ)が来る前から心待ちにしていた分、別れはちょっと寂しかったです」と語っていました。  
(国際協力推進員(北見)高橋)